

性的ディープフェイク被害を考える

—— 被害者にも加害者にもならないために

☒ 50分

【対象学年】	中学1～3年(高校生にも応用可)
【準備物】	GIGA端末(総務省サイト閲覧用)・ワークシート
【ねらい】	生成AIによる画像加工が被害にも加害にもつながることを理解し、行動を考える

■ 扱う内容

● 知る 性的ディープフェイクの実態と統計データ

● 考える 被害者と加害者、両方の立場を想像する

● 行動する もし遭遇したときの初動対応を知る

● 伝える 家庭や友人と話し合うきっかけを作る

■ 授業の流れ(50分)

0～5分	導入	「もしあなたの写真が…」問いかけ
5～15分	展開①	事例集のディープフェイク特集を読む
15～30分	展開②	被害者・加害者の立場で考えるワーク
30～40分	展開③	初動対応と相談先を知る
40～50分	まとめ	ワークシート記入・振り返り

■ 準備物チェックリスト

- GIGA端末(生徒用・総務省事例集サイト閲覧用)
- ワークシート(本資料P.4を印刷)
- 教師用:総務省事例集ディープフェイク特集ページ(投影用)
- 参考:警察庁 啓発資料「そのAIの使い方、犯罪かも…」

☒ 授業実施のコツ

ポイント:この授業は「被害防止」だけでなく「加害防止」が軸です。
「面白半分にやったら犯罪になりうる」ことを、脅しではなく事実として伝えましょう。

■ 導入(0～5分) 問いかけで関心を引く

- ・「もし、自分の卒業アルバムの写真が勝手に加工されて、ネットに出回ったらどう思う?」
- ・答えは求めない。考えさせるだけでOK。
- ・「今日は、実際にこういうことが起きていることと、自分にできることを考えます」と宣言。

☒ 板書ガイド

板書例:「もし自分の写真が勝手に加工されたら?」

■ 展開①(5～15分) 事例集で実態を知る

- ・GIGA端末で総務省事例集の特集「あなたの卒アル写真が狙われる?!」を各自閲覧。
- ・教師用端末で投影しながらポイントを補足:
 - 2025年の被害114件、被害者の58%が中学生、加害者の約6割が同校生徒。
 - 卒アル・行事写真が「素材」として使われている現実。

☒ 板書ガイド

板書例:「被害者の58%=中学生」「加害者の6割=同じ学校」

■ 展開②(15～30分) 被害者と加害者の両面を考える

- ・ワーク:「もし被害に遭ったら、何を感じるか」を個人で書く(2分)。
- ・ワーク:「なぜ加害者はやってしまうのか」をグループで話す(5分)。
- ・全体共有後、法的リスクを説明:
 - 名誉毀損罪、わいせつ物頒布等の罪に問われる可能性。
 - 「仲間うちだけ」でも拡散リスクがあり、一度出た画像は回収不能。

☒ 配慮事項

注意:「犯罪になる」ではなく「罪に問われる可能性がある」と表現。
法的事実の断定を避け、教育効果を保ちつつ正確性を維持する。

■ 展開③(30～40分) 初動対応を知る

- ・もし被害に遭ったら:①スクショで証拠保存 → ②信頼できる大人に話す → ③相談窓口へ。
- ・総務省事例集の「トラブルに遭った時の対処」特集と一緒に確認。
- ・相談先の紹介:法務局・人権相談、サイバー犯罪相談窓口。

☒ 板書ガイド

板書例:「証拠を残す → 話す → 相談窓口」

■ まとめ(40～50分) ワークシート記入

- ・ワークシート(P.4)を記入させる。
- ・締めの言葉:「自分の写真も、友達の写真も、大切なもの。
AIは便利な道具だけど、使い方を間違えると人を深く傷つける。
今日学んだことを、ぜひ家族とも話してみてください。」

☒ 用語解説(10語)

ディープフェイク

生成AIで作られた偽の画像・動画・音声

スクリーンショット

画面を画像として保存すること。証拠保全に重要

生成AI

テキストや画像を自動で作出すAI技術

初動対応

トラブル発生直後にまず行うべき行動

名誉毀損

人の名誉を傷つける行為。刑事罪にもなる

相談窓口

被害を受けた時に助けを求められる公的機関等

わいせつ物頒布

性的な画像等を他人に配ること。刑法違反

拡散

情報がSNS等で広まること。一度広がると回収困難

肖像権

自分の顔・姿を許可なく使われない権利

総務省事例集

2009年から毎年更新の青少年向けネット教材

☒ 事例カード(4枚)

事例① 同級生の写真を加工して共有

男子中学生が同級生の女子の画像を裸に加工し、他の生徒に送信。補導された。

事例② 行事アルバムの写真を利用

行事写真の女子生徒をわいせつ画像に加工し、グループLINEで共有。学校が把握し指導に。

事例③ SNSの写真が知らぬ間に

自分がSNSに投稿した写真が、他人に加工されてネット上に拡散されていたと発覚。

事例④ 早期発見・対応で被害拡大を防止

友人が被害に遭ったことに気づいた生徒がすぐに教師に報告。スクショを証拠として保存し迅速に対応できた。

☒ FAQ(生徒から出やすい質問)

Q: AIで加工しただけで見せなくても犯罪?

A: 加工して保有するだけでは現行法で直接罰則がない場合もありますが、共有した時点で法的責任が生じます。

Q: 被害に遭ったけど恥ずかしくて言えない…

A: あなたは何も悪くありません。スクショを保存し、信頼できる大人や相談窓口ご連絡してください。

Q: 友達が被害に遭っているのを知ったら?

A: 本人の了承を得た上で、教師やスクールカウンセラーに相談しましょう。見て見ぬふりをしないことが大切です。

☑ ワークシート

性的ディープフェイク被害を考える

名前: _____ 組: _____ 日付: _____ 月 _____ 日

Q1. もし、自分の写真が勝手に加工されてネットに出回ったら、どんな気持ちになると思いますか？

.....
.....
.....

Q2. ○×クイズ:正しいと思うものに○、間違いだと思うものに×をつけよう。

- 仲間うちだけで見せるなら、他人の写真をAIで加工しても問題ない。
- 被害に遭ったら、まず証拠(スクリーンショット)を保存することが大切。
- AIで作った画像は「ニセモノ」だから、被害者は傷つかない。
- 友達が被害に遭っていることを知ったら、信頼できる大人に相談する。

Q3. もし友達から「面白い加工アプリ見つけた、同級生の写真で試そう」と言われたら？

どう答えるか、また断るとしたらどんな言い方をするか書いてみよう。

.....
.....
.....

Q4. 被害に遭った人がまずやるべき3ステップを順番に書こう。

1
2
3

☑ 今日の授業で感じたこと・これから気をつけたいこと

.....
.....